

汐田総合病院 初期研修プログラム



アクセス



- 当院へはJR南武線 尻手駅から徒歩で約7分
- 川崎駅へ約2分、横浜駅へ約10分
- 東京駅へ約20分、羽田空港へ約30分

近隣にはラゾーナ川崎、横浜、桜木町など
様々な場所へのアクセスが良好です。



病院概要

- 1953年開設
- 常勤医 43名 非常勤医 102名 計145名
- 病床数 319床 (一般急性期病棟/
回復期リハビリ病棟/地域包括ケア病棟)

内科/総合診療科/外科/整形外科/小児科/皮膚科/眼科/
耳鼻科/脳神経外科/脳神経内科/精神科/泌尿器科/
婦人科/歯科口腔外科/リハビリテーション科/救急科





診療所から汐田病院へ（昭和35年）

1953年(昭和35年)
下野谷に「汐田診療所」としてオープン

「病気やケガをしてもお金の心配なく安心して治療を受けたい」という地域の方々の協力で作られた「働く人たちの病院」。



小児マヒから子供を守る行動（駅頭署名）

その後ベッドが増え、
汐田診療所→汐田総合病院になったが、
施設が手狭になったため2001年に
現在の鶴見区矢向に新築移転。

元の(下野谷)汐田総合病院は
うしおだ診療所となって現在も稼働中。



病院概要

➤ 研修医数（2022年4月現在）

1年目：2名、2年目：2名

※2023年度 新卒募集人数：**2名**

5年連続フルマッチ中

➤ 初期研修医の出身大学

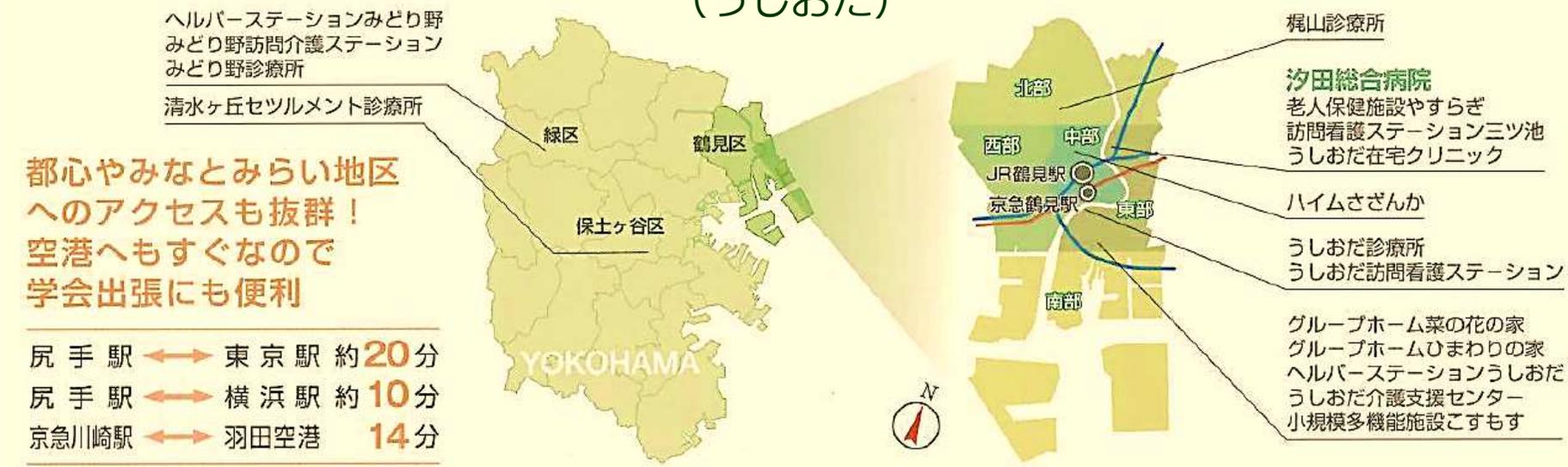
香川大学/北里大学/群馬大学/高知大学/聖マリアンナ医科大学/東海大学/東北大学/富山大学/新潟大学/福島県立医科大学/北海道大学/横浜市立大学/弘前大学/大分大学/関西医科大学/長崎大学 など

健診から在宅往診まで 患者さんを人として診る

公益財団法人横浜勤労者福祉協会グループ

Network

(うしおだ)



- ✓ 病院：1
- ✓ 老人保健施設（敷地内併設）：1
- ✓ 診療所：4
- ✓ 往診/訪問看護/介護/ヘルパーST：7
- ✓ 小規模多機能施設/グループホーム：4
- ✓ 薬局：4
- ✓ 友の会：多数

うしおだグループ公益財団法人横浜勤労者福祉協会

【汐田総合病院】

(一般病棟158床、療養161床 合計319床)

【うしおだ総合ケアセンター】

うしおだ老健やすらぎ (50床)

うしおだ在宅クリニック/うしおだ訪問看護ステーション/うしおだ
ケアサービス

【診療所/往診施設】

うしおだ診療所/梶山診療所/みどり野診療所

清水ヶ丘セツルメント診療所/みどり野ヘルパーステーション



【社会福祉法人 うしおだ】

【介護施設】 うしおだ介護支援センター/ヘルパーステーションうしおだ
グループホーム/菜の花の家/グループホームひまわりの家
小規模多機能こすもす/ハイムさざんか/ハイムつばき/ハイムさつき

【株式会社 ヒューメディカ】

【薬局】 新つるみ薬局/うしおだ薬局
梶山・みついけ薬局/しんまち薬局

【協同組織】

横浜健康友の会
NPO法人ふれあい友の会

うしおだグループで出来ること

地域の総合病院として初期治療、救急、急性期、回復期、終末期ケア、在宅医療に至るまで幅広い医療を展開しているので、

総合診療、プライマリケアをしっかりと学べます。



アカデミックな研修もサポートします！

- ① 年3回まで、国内学会参加をサポート
- ② 東邦大学、昭和大学、横浜市立大学など
大学病院との連携あり



少人数ならではのきめ細やかな指導体制

- ① アットホームな総合医局
- ② 上級医やコメディカルと相談しやすい
- ③ 定期的に研修医向け勉強会を開催



脳神経系が強いです！！

- ① 脳卒中専門医の数は横浜市の市中病院で
トップ3！
- ② 論文、学会での発表多数
- ③ 他院から研修者多数
- ④ 神経疾患の宝庫



総合診療の充実を 目指しています！

- ① 初期研修後、継続して総合診療のプログラムを進める！
- ② 病院総合診療専門医の資格取得も可能！
- ③ 多様なCommon diseaseを診られる
- ④ 法人内外事業所と連携して地域医療を学べる充実した環境



神内・救急・整形外科など 他院からの研修者多数

- ✓ 立川相互病院(東京)
- ✓ 大田病院(東京)
- ✓ 甲府共立病院(山梨)
- ✓ 久地診療所(神奈川)
- ✓ 川崎協同病院(神奈川) etc.



論文、学会での発表多数

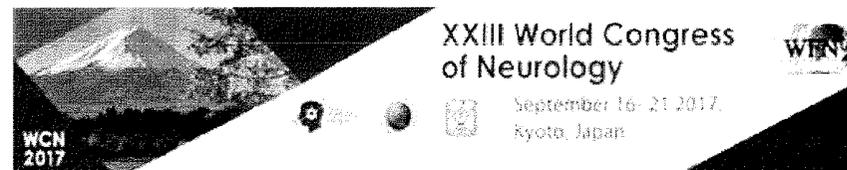
2017年9月世界神経学会議(京都)で演題発表



XXIII World Congress
of Neurology

September 16-21 2017
Kyoto, Japan

www.wcn-neurology.com



Abstract Number: WCN17-1185

Abstract Title: THREE CASES OF STROKE WITH PROPRIOCEPTIVE DYSFUNCTION FOLLOWING LESIONS TO AREA 3A AND THE MEDIAL PRECENTRAL KNOB

Dear Dr Masahiko Sano,

On behalf of the Scientific Program Committee, we are pleased to inform you that your abstract, has been accepted for paper poster presentation at the **XXIII World Congress of Neurology (WCN 2017)**.



神経疾患の宝庫

- 球脊髄性筋萎縮症 (Kennedy-Alter-Sung症候群)
- ALS、MS
- 脊髄小脳変性症
- 脳表ヘモジデリン沈着症
- 高血糖性舞踏病 etc.



つばさ研修プロジェクト

つ(Tsurumi) 鶴見で

ば(Valuable) 価値のある学びを深めて

さ(Satisfactory) 研修医、指導医双方が満足のいく研修を

目指すプロジェクト

- ✓ 2021年より導入期における研修医指導医体制を強化
- ✓ 月に1回、研修医MT（研修医による振り返り）を開催
- ✓ 研修医、指導医、プログラム責任者による振り返り（研修状況、到達度の把握）を開催
- ✓ 看護師、薬剤師などのコメディカルによる評価
- ✓ 年3回、研修管理委員会を開催

現在の初期研修医(2022年4月~)

河内研修医
2年目
横浜市立大卒



丸岡研修医
2年目
北里大卒



佐々木研修医
1年目
長崎大卒

海野研修医
1年目
関西医科大学卒

メリハリのある研修(基本は8:30~17:00)

➤ 週間スケジュール(神経内科例)

	月	火	水	木	金	土
	8時~ 採血	8時~ 採血	8時~ 採血	8時~ 採血	8時~ 採血	休み
午前	病棟業務	脳外合同 カンファ 救急当番	病棟業務	病棟業務	病棟業務	
午後	カンファ 回診	病棟業務	病棟業務 14時~ 心エコー研修	病棟業務 13時~ 研修医勉強会	カンファ 隔週16時~ 循環器勉強会	

研修ローテーション例

初期研修プログラム例

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
1年次	オリエンテーション ～導入期 (8週)		内科(総合診療科) (12週)			消化器内科 (8週)		外科 (8週)		救急科 (9週)		整形外科 (9週)
研修先	基幹型											
平行研修			一般外来 1週			一般外来 1週						

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
2年次	整形外科 (9週)	地域医療 ※1 (4週)	脳卒中 (13週)			選択※2 (16週)			産科※3 (4週)	小児科※4 (4週)	精神科※5 (4週)	
研修先	基幹型	協力施設	基幹型			基幹型または協力型			協力型	協力型	協力型	
平行研修		一般外来 1週	一般外来 1週									

- ※1 地域医療は協力施設(うしおだ診療所、生協戸塚病院、久地診療所、うしおだ在宅クリニック)のいずれかにて実施
- ※2 選択は基幹型の研修科・川崎協同病院循環器内科・川崎協同病院小児科・大田病院呼吸器内科にて実施
- ※3 産婦人科研修は協力型病院(済生会横浜市東部病院または市立川崎病院)にて実施
- ※4 小児科研修は協力型病院(川崎協同病院または済生会横浜市東部病院)にて実施
- ※5 精神科研修は協力型病院(済生会横浜市東部病院または神奈川病院)にて実施

総合診療科、脳神経外科、神経内科、リハビリテーション科、外科、整形外科、救急科は
当院で研修可能

地域医療研修

うしおだ診療所
(地域医療)
精神科を主に各診療科で
地域医療を实践

うしおだ在宅クリニック
(往診)
退院してからのフォロー

久地診療所
(家庭医集団)
家庭医を目指す方へ

生協戸塚病院
(総合診療科)
小規模病床/在宅医療



連携施設選択研修

川崎協同病院
(循環器/小児科)

大田病院
(呼吸器内科)

神奈川病院
(精神科)

済生会横浜市東部病院
(産婦人科/小児科/精神科)



当直研修 (1年目夏頃～)

- 原則月4回、17時～翌朝9時 (※朝5時～9時は仮眠が可能)
- 明けは半日休み

①見習い当直医

(9-11月:17時～23時or17時～翌9時選択) 2,500円

②副当直 (1年目12月頃) 10,000円

③副当直・独り立ち前 (2年目4月頃) 15,000円

④独り立ち (2年目初夏以降) 30,000円

段階的なスキルアップ



研修医ミーティング (毎月第4火曜日)

毎月の研修を振り返り、
プレゼンしています。

ミーティングを通じて新たな
学びや気づきがあり、適切な
フィードバックが得られます。



研修医勉強会(定期的に開催)

※現在は休止中

この本を使って
取組んでいます。



上級医に近年の論文に
ついてプレゼン中。



論文

日本静脈経腸栄養学会雑誌 32(4) : 1337-1340 (2017)

臨床経験

輸液・経腸・経口摂取栄養計算アプリ「easyNST」の有用性
Development of tablet-type device application "easyNST" for calculating parenteral and enteral nutritional requirement.

栗原美香 佐々木雅也
Mika Kurihara, Masaya Sasaki

滋賀医科大学附属病院 栄養治療部
Division of Clinical Nutrition, Shiga University of Medical Science



合同カンファ(毎月第3水曜日)

昭和大学病院総合内科(ER)の指導医を講師に、救急カンファを合同で開催しています。



連携している川崎協同病院の研修医と一緒に、和気あいあいとやっています。



学べる企画 & 楽しい企画がいっぱい！

済生会東部病院
循環器医師を招き
循内カンファ



健康まつり
地域の方の
健康相談をします



健康まつりの抽選会
で司会のお手伝い



給与/待遇/採用関連

➤ 研修1年目の例

- ✓ 身分：常勤職員、健康保険、厚生年金、労災、共済制度
- ✓ 給与：310,000円（賞与年2回、昇給年1回）
医師手当 35,000円、諸手当(当直料、住宅手当等)
通勤費全額支給
- ✓ 休暇：祝日を含む4週8休、有給休暇あり
オールシーズン休暇4.5日
当直明け等

➤ 採用試験は面接と小論文のみ

初期研修後の進路 (後期～新専門医制度)

総合診療専門プログラム(3年間)

総合診療医は…

- 「場」を診る
- まるごと診る
- ずっと診る
- 医者

- 近くで
- 何でも
- いつでも、いつまでも
診てくれる医者



2022年4月開始 汐田総合病院 総合診療プログラム ローテーション例

※プログラム変更の場合もありますので、ご了承ください。

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年目	施設名	汐田総合病院											
	領域	<内科 12か月>											
2年目	施設名	さんむ医療センター(千葉県)						済生会横浜市東部 病院			川崎協同病院 or 済生会横浜市東部病院		
	領域	<総合診療専門研修Ⅰ 6か月>						救急科<3ヶ月>			小児科<3ヶ月>		
3年目	施設名	汐田総合病院											
	領域	<総合診療専門研修Ⅱ 12か月>											

総合診療 専門研修	総合診療専門研修Ⅰ (12) 力月	総合診療専門研修Ⅱ (12) 力月		
領域別 研修	内科 (12) 力月	救急科 (3) 力月	小児科 (3) 力月	選択 (6) 力月

その後も引き続き…

病院総合診療専門医(1年間)

※当院もしくは日本病院総合診療医学会の認定施設で研修を行った場合



《基本給》

- 3年目 383,100円
- 4年目 403,100円
- 5年目 426,100円
- 6年目 450,100円

《賞与》

- 年2回支給(7月、12月)

《福利厚生》

- 社会保険、労災保険、厚生年金、共済制度
- 通勤費全額支給

《休日》

- 4週8休制度(休日・祝祭日含む)
- 年末年始休暇(6日間)
- 夏期休暇(4.5日)

What's みんないれん?

(民主医療機関連合会)

「みんないれん」は、無差別平等の医療・介護・福祉の実現と、平和な社会の実現をめざして活動する医療・介護系機関の連合体で、全国に1800ヶ所以上の事業所が加盟しています。

神奈川民医連の病院ではお金の有るなしに関わらず、誰もが必要な医療を受けられるよう、**差額ベッド代**を頂きません。

また複数の事業所で**無料低額診療事業**を実施しています。

※**無料低額診療事業**…生計困難者が経済的な理由によって必要な医療を受ける機会を制限されることのないよう、無料又は低額な料金で診療を行う社会福祉法に定められた事業

Network Map

- 病院 4
- ▲ 診療所 26
- 訪問看護ステーション 15
- ◆ 薬局 17
- 介護老人保健施設 2
- △ グループホーム 3
- ヘルパーステーション 12
- ◇ 介護支援センター等 11



汐田総合病院

横浜市磯見区矢向 1-6-20
TEL : 045-574-1011

川崎協同病院

川崎市川崎区桜本 2-1-5
TEL : 044-299-4781

☒ : 基幹型臨床研修病院

私たちが大切にしていること

無差別平等の
医療

地域の人たちとの
協力

全人的医療

健康な街づくり

いのちの平等

予防医療

いのちの平等

全人的医療

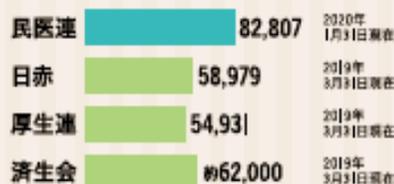
無差別平等の医療

差額ベット代を取らない・・・1人部屋でも4人部屋でもみんな同じ料金。お金を持っている、持っていないで医療に差をつけない。

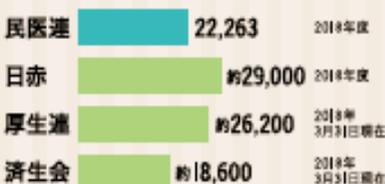
無料低額診療・・・お金がなく医療を受ける事が困難な患者さんに医療費免除する。

■ 主な医療団体との比較

職員数 (※日赤は医療事業のみ)



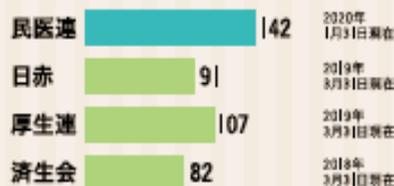
日平均の入院患者数



日平均の外来患者数



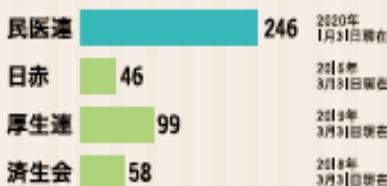
病院数



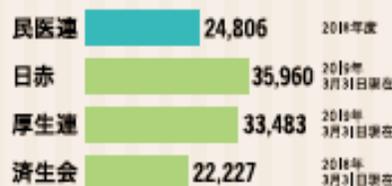
診療所数



訪問看護ステーション数



病床総数



■ 全日本民医連の機構

全日本民主医療機関連合会 事務局：東京都文京区湯島2-4-4



7つの地方協議会(地協)を構成する県連合会

北海道・東北	北海道、青森、岩手、宮城、秋田、山形、福島
北関東・甲信越	群馬、埼玉、新潟、山梨、長野
関東	茨城、栃木、千葉、東京、神奈川
東海・北陸	富山、石川、福井、岐阜、静岡、愛知、三重
近畿	滋賀、京都、大阪、兵庫、奈良、和歌山
中国・四国	鳥取、島根、岡山、広島、山口、徳島、香川、愛媛、高知
九州・沖縄	福岡、佐賀、長崎、熊本、大分、鹿児島、宮崎、沖縄

都道府県連合会(46県連)

県連は「民医連綱領・規約」を承認する病院・診療所・保険薬局・介護福祉施設などの事業所で構成されています。

病院／診療所／歯科／訪問看護・ヘルプステーション／介護老人保健施設など 法人(公益法人・医療法人・生活協同組合など)

保険薬局 法人(一般社団法人・株式会社・有限会社など)

特別養護老人ホーム／介護支援事業所など 法人(社会福祉法人など)

その他の事務所／看護・介護学校／セントラルキッチンなど

あなたのまちの民医連事業所一覧



データでみる民医連

民医連の組織現勢

全日本民医連加盟事業所数
2020年1月現在

区分	事業所数
病院	142
有床診療所	13
無床診療所	476
歯科	80
訪問看護ステーション	246
保険薬局	351
薬剤・診療材料センター	33
看護・介護学校	8
検査センター	2
老人保健施設	52
在宅介護支援センター	24
特別養護老人ホーム	37
鍼灸所	3
研究所	2
ヘルパーステーション	51
グループホーム	23
在宅介護福祉関係施設	215
ケアハウス	11
その他	13
合計	1,782

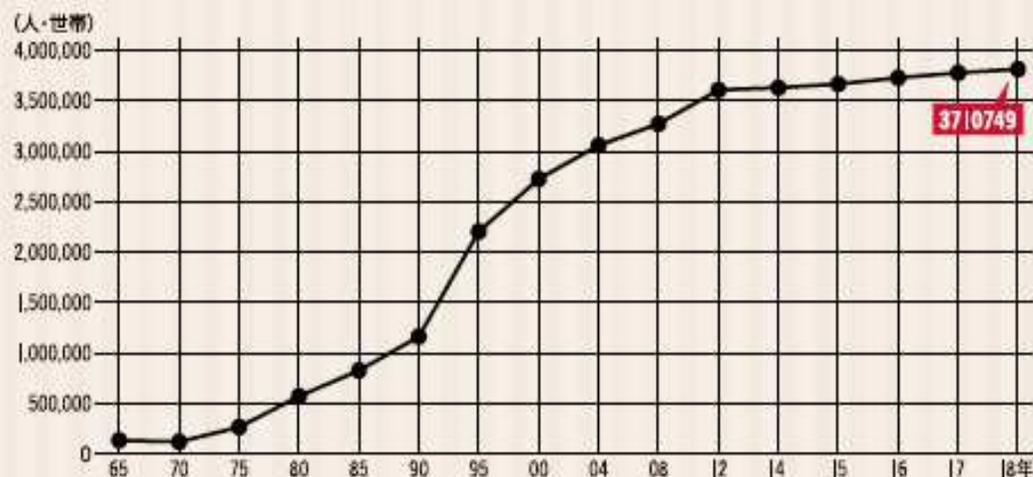
事業所数・職員数の推移

※～60年は「民医連運動の軌跡(1983年発行)」や「民医連運動方針」から抜粋、
65年～は「現状調査」から抜粋。



共同組織構成員の推移

2018年12月現在



地域医療を
実感できる

神奈川民医連の実習紹介

現場に来るのが一番の勉強!たくさん学びにおいで!

研修医 齊木好美
(2013年入職)

低学年からでもOK!

大学病院の実習は5年生から始まるBSL、市中病院の見学も高学年からの受け入れが一般的。
神奈川民医連の事業所では低学年から実習可能!入学前実習も受け入れています。



低学年でまた医学的な事はよく分からないけど、現場実感が深まったよ!

高学年は研修医体験も

高学年の医学生さんは朝の勉強会から夜の当直まで、研修医に密着して実践的な実習を行います。実際の間診や身体診察など研修医の1日を体験することが出来ます。

大学のベッドサイドラウンジとの違いを比較できるな



病院で患者さんを持っているだけじゃないんだ!



病院だけではない、地域をフィールドに!

訪問診療や訪問看護、さらには地域のヘルスプロモーション活動として行う地域住民向け健康講座や、健康づくり活動も実習のフィールドです。



県内の様々なフィールドで地域医療を実感

神奈川県内の4病院26診療所を含む多彩な事業所で実習が出来ます。都市型診療所や海の近くの郊外型診療所、高級住宅街から工場地帯まで幅広いフィールドでそれぞれの特徴を持った地域医療を学ぶことが可能です。

"地域医療実感!地域比較実習"として連続して2か所の診療所の往診実習を行うことで地域差を見る実習を行った学生さんもあります。



地域の色って本当にそれぞれ。来なきゃ実感できなかったよ。

医師の枠を超えた、多職種の実験を積める

医師業務だけではなく、看護実習、MSW(医療ソーシャルワーカー)実習も行います。例えばMSW実習では様々な生活背景を抱える患者さんの支援を垣間見ることができ、本物の"全人的医療"と"チーム医療"を体感できます。



ワーカーさんがこんなに活躍しているなんて大学じゃ教わってないよ...

毎日申込み可!

平日は毎日見学を受け付けています。急な申込み可能な限り受付けますので、お気軽にお申し込みください。



急に申し込んだのに研修医の先生優しく接してくれたなー!

※白衣・聴診器は貸与可能です。



せ、先生の腕で採血練習なんて緊張...

レクチャーや手技の体験も

中学年以上の医学生さんには、"臨床に役立つ!誰でも1時間で読める胸写"などのレクチャーも行っています。グループでレクチャーに申し込むことも可能です。また、実際の採血や注射などの手技体験も希望に応じて行うことが出来ます。地域のヘルスプロモーション活動では血圧測定も行い、多くの経験を積むことが出来ます。

手術・内視鏡・心カテ見学も

様々な検査や手術も術野で見学することが出来ます。将来目指す科に早い段階で触れることができ、勉強のモチベーションがあがります!



こんなに観近で見られるとは!解剖実習しておいて良かった(^.^)

カンファレンスでは医師、看護師だけでなく、ケアマネージャーも参加して行うことはとても驚かされた。多職種間連携の重要性を改めて感じました。(5年生)

student's voice

回診の様子を見てこんなにも患者さんと医師の距離が近い病院は初めてだと思いました。(5年生)

かんよう
人格を涵養し、基本的な診療能力をつける

※言葉：水がしみこむように、じつりと、やさしい育てること

神奈川民医連の研修紹介



研修医 國枝裕介
(2014年入職)

“良医”になるための研修がここにある！
多くの学生さんが、「とにかく沢山の症例」「同期は10人位」「きれいな病院」「専門科が充実」など、漠然としたイメージで研修病院を探す傾向にあります。しかし、厚生労働省が初期研修の基本理念として掲げるのは、「医師としての人格を涵養」「将来の専門にかかわらず、Common diseasesに適切に対応できる」「プライマリ・ケアの基本的な診療能力」などです。神奈川民医連では臨床研修制度発足以前から、初期研修で必要なことをマジメに考え、“良医”の育成にこだわった研修を行ってきました。

Point 1 プライマリ・ヘルス・ケア 疾患・臓器だけではなく、“人”を診る

臨床研修では、プライマリ・ケアの基本的な診療能力を身に付けることが目標です。プライマリ・ケアの力をつけるには多くの common disease を経験する必要があります。地域の病院は common disease の宝庫。プライマリ・ケアを学ぶ上で適したフィールドと言えます。神奈川民医連の初期研修では、プライマリ・ケアを中心とした適切な医療の提供はもちろん、地域や行政・福祉とも連携し、健診やヘルスプロモーション活動を通じて、治療だけではないプライマリ・ヘルス・ケアの実践を経験します。



少数教育のため、手技や症例を十分に経験できます

定期的に勉強会を行い、鑑別診断などについて議論しています

※common disease: 一般的な疾患の意



なるほど！しっかり経験を積みながら、患者さんまをまるごと診て、地域医療を実感できよう！

Point 2 地域医療

地域密着だから可能な多角度からのアプローチ

プライマリ・ケアの理念の一つに“accessibility(近接性)”があります。これは、地理的、時間的、経済的、精神的にかりやすい、つまり「何かあったらすぐに相談できる」医療のこと。神奈川民医連の研修では、“外科ローテで診た患者さんと、診療所研修の往診で再会”ということがあります。こういった経験は地域医療の現場ならではの、地域に根差し、患者さんとの物理的・心理的距離が近い立場で、患者さんが抱える様々な困難や疾病の背景までを考え医療を行っています。患者さんの生活背景、労働実態にまで迫った医療を実践します。



JCEP(臨床研修評価機構)でも“模範的な研修内容”と高い評価を受けています



手術をはじめ、外科のプライマリ・ケアも幅広く研修できます

Point 3 チーム医療 医師だけではないそれぞれの専門性で

医療の目的は患者さんの健康問題に寄り、患者さんのHappyを目指すことです。そのために、さまざまな職種がそれぞれの専門性を生かしてチーム医療に参加しています。神奈川民医連の研修では、日常的な多職種カンファレンスなどを通じて、本質的なチーム医療を身に付けます。



看護師やコメディカルスタッフが、いつでも相談のつてくれます



患者さんの抱える問題について、チームで解決する力を養います



奨学金制度のご案内



医師を目指すあなたをバックアップ!

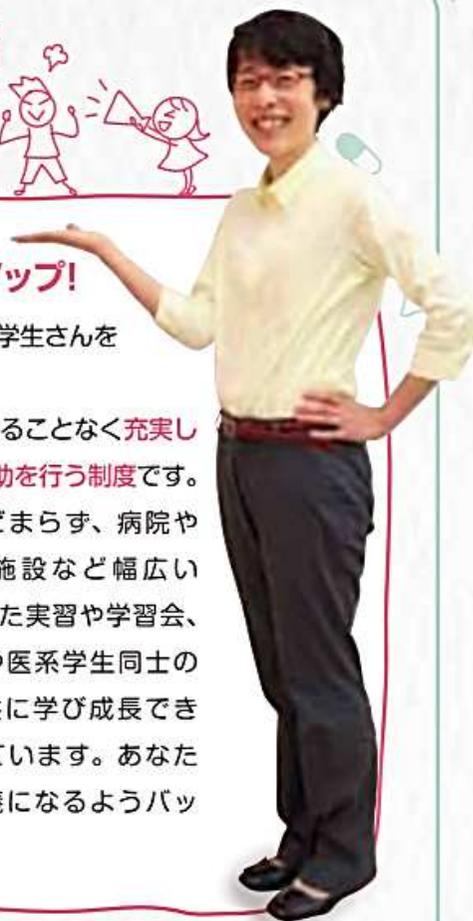
神奈川民医連では、医師を目指して学ぶ医学生さんを対象に、奨学金制度を設けています。

多忙な学生生活の中でアルバイトに追われることなく**充実した豊かな学生生活を送れるように、経済援助を行う制度**です。

お金の心配もなく
なって経験もつめる。
—石二鳥じゃん!



奨学金の貸与にとどまらず、病院や診療所、介護福祉施設など幅広いフィールドを活用した実習や学習会、現場の医療従事者や医系学生同士の交流などを通し、共に学び成長できる場も数多く設けています。あなたの学生生活が有意義になるようバックアップします!



奨学金貸与額

1年生～6年生

月額 **80,000円**

※年度途中からでも応募できます
※返済免除規定あり。
詳しくはお問い合わせ下さい。

特別貸付金

上限 **400万円** まで

申請者の要望により奨学金と併せて貸与します。

※返済免除はありません。



大学を飛び出せ!

ここにしかない 学びと交流の場



医学生は誰でも参加できるよ!

医学生をつどいは、普段あまり考えないテーマを全国の仲間と一緒に熱く考える機会です! 全国にたくさんの繋がりが出来て、学生生活がより楽しくなるよ! (J大学Tさん)



学生ごとの活動報告は、仲間の活動を聞くことでやりたい事が増えただけでなく、自分の経験をまとめ直し、見つめる良い機会になりました! (K大学Sさん)



学士編入で入学して、奨学生になりました。編入生でも全く問題ありません。民医連では、低学年から臨床現場を体験できます! 民医連だからこそ得られる機会を使って一緒に見識を広げませんか? (O大学Sさん)



違う大学の医学生との交流はとっても刺激的! いろいろな話で想像以上に盛り上がりがあります。違う大学だから話せちゃうプライベートなことも...? 笑 (E大学Yさん)



大学も学年も違う医学生同士でディスカッション

ドクターやコメディカルの話を書いて知識を深めよう!

1. ミーティング

医師を含めた現役の医療者を招いての症例検討会や、医療に関する社会問題の学習会など、学生自身が設定したテーマで学びます。例えば...

ケースカンファレンス

研修医を講師に、実症例を基に社会的困難を抱えた患者さんの生活背景まで診て、どのような退院支援が必要か考えました。

メディカルシアター

医療に関するテーマの映画を鑑賞し、医師からの解説で内容を深めました。医療問題や医師像を深める機会になりました。

アスベスト問題学習会

アスベスト問題に取り組む医師を講師に、アスベスト公害について学びました。

学生活動報告

学生が大学での活動や、学外活動、実習での学びを報告します。仲間の発表はおおきな刺激を受けるもの。また発表することにより、自分自身の学びも深まります。

色々な意見が聞いて刺激的!



現地に行き、見て聞いて学ぼう!!

2. フィールドワーク合宿

自分一人では行きづらい場所へも医学生合宿として足を運び、フィールドワークを通して学びます。医療はもちろん医療以外のテーマに関しても、現場で実感を伴って学ぶ大切な機会になります。過去の企画はこちら。

2012年度@長崎 「被ばく医療と離島医療を学ぶ!」

2013年度@静岡 「核害とハンセン病から人権を考える」

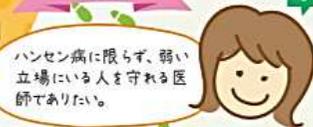
2014年度@福島 「震災から4年、福島の現在を知る」



医学生の「やりたいこと」に寄り添います!

student's voice

ハンセン病フィールドワーク参加



ハンセン病に限らず、弱い立場にいる人を守る医師でありたい。



福島を訪れ、津波・原発被害を実際に見て、ここでしか得られない経験ができました。

福島被災地フィールドワーク参加

将来ともに働くかもしれない仲間と交流。今から他職種連携を学べる!?

他職種の間をつくらう!



3. 医系学生交流集会

年に一度、医系学生(医・薬・看護・リハ)が集まり、職種の垣根を越えて医療職を目指す仲間とともに学び、交流を深めます。将来同じ医療現場に立つ、異なる学部で学ぶ仲間とのディスカッションは、新たな価値観の発見につながり、見識を広げる機会になります。チーム医療を学生のうちから実感!

全国の医学生と交流しよう!

4. 医学生のつどい

全国から医学生が集まり、講演やフィールドワーク、SGD (small group discussion) を通して社会・地域から求められる医療について学びます。

夜は参加者全員で数百人規模の大交流会! 全国の仲間と出会い、語り合う中で、自身の医療観や医師像を深めていくことにつながります。過去のテーマはこちら。

2012年度@岩手 「原発問題から医療と生活を考える」

2013年度@愛知 「終末期医療」

2014年度@愛媛 「地域医療」



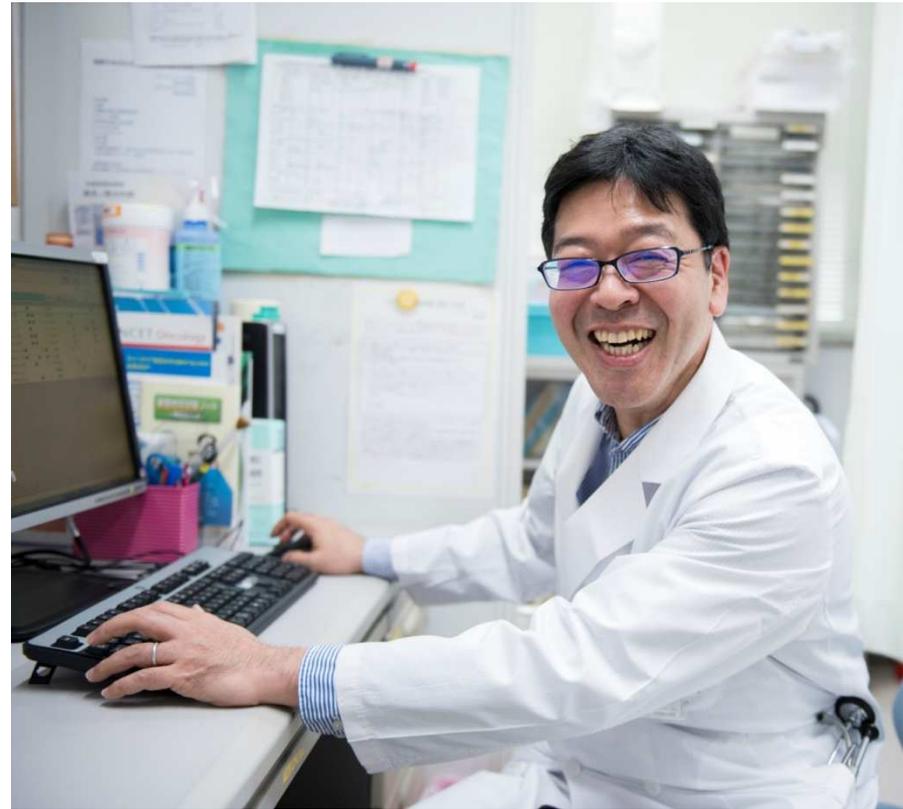
川崎協同病院外科和田浄史医師もつどいで講演



指導医からのメッセージ

初期研修の2年間を
無事に終わることが
大切です。

横浜での地域医療に
感心がある医学生の
皆さん、ぜひ一度
私たちの医療を体験
しに来てください。



総合診療科部長 佐野 正彦 医師

初期研修は医師の基礎をつくる大事な期間です。
ぜひ、私たちと一緒に創意工夫を凝らしながら
成長できる研修を作りましょう！

